

衆議院外務委員会ニュース

平成 23.10.26 第 179 回国会第 2 号

10月26日(水) 第2回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・玄葉外務大臣、山口外務副大臣、筒井農林水産副大臣、神風防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

河井克行君(自民)

- ・玄葉外務大臣は、普天間飛行場に関し「国外、最低でも県外」と公約した 2009 年衆議院総選挙時の鳩山民主党代表(当時)の発言を誤りだったと認めるか。
- ・国家戦略担当大臣時代に「従来の原発輸出は見直す必要がある」との見解を示していた玄葉外務大臣の原発輸出に対する考え方は、外務大臣となった今も変わらないか。
- ・竹島と北方領土の法的地位について、民主党政権の歴代外務大臣が「不法占拠」から「法的根拠のない占拠」との表現に言い換えた根拠は何か。

三ツ矢 憲生君(自民)

- ・玄葉外務大臣は就任挨拶において「外交の目的は国益の最大化」と述べたが、今の我が国にとって「国益」とは何であり、それを達成するために利用可能な外交ツールには何があると考えているのか。
- ・TPP交渉の途中離脱は日本の国際的な信用の失墜につながるので、交渉参加を決定する前に、国会において十分な議論を行う必要があるのではないか。
- ・最近、民主化に向けて前向きな動きが見られるミャンマーに対して、我が国はどのような対応をとっていくのか。

小野寺 五典君(自民)

- ・TPP交渉の途中離脱をした場合、我が国の国際的な信用を失いかねないが、与党内でも反対意見が多く、国会承認を得られないおそれがあるにもかかわらず交渉に参加するのは無責任なのではないか。
- ・普天間飛行場移設問題について、沖縄県知事が埋立許可を出して辺野古への移設が実現する見込みはあるのか。
- ・普天間飛行場移設問題についても、TPP交渉参加問題についても、与党内の意見をまとめることが先決ではないのか。

稲田 朋美君(自民)

- ・普天間飛行場移設問題について、県外移設の公約を破った上に、同問題の混乱によって日米関係を脆弱化させたことに対して、全国民にお詫びすべきではないか。
- ・竹島及び北方領土の法的地位について、「不法占拠」であると言うべきではないか。
- ・TPP交渉への参加について、政府のどこの組織でどのようにして決定するのか。

菊田 真紀子君(民主)

- ・中国の海洋政策をどのように評価し、中国の海洋進出にどのように対応するのか。
- ・中国がアフリカや太平洋島しょ国などで行っている援助は、中長期的には途上国のためになっていないという指摘も多いが、国際ルールに沿った援助を行うよう中国に働きかけるべきではないか。
- ・米国に次ぐ世界第2位の経済大国となった中国に対して、我が国は今後どのような形で政府開発援助を行っていくつもりなのか。

市村 浩一郎君(民主)

- ・米国のワシントンD.C.に日本の桜が贈られてから100周年となる来年3月に、東日本大震災に際しての米国の対日支援に対する感謝のしるしとして、再び我が国から桜を贈ることを提案したいが、御支援いただけるか。
- ・中国人観光客の回復に向けて、中国側へオープンスカイ交渉の推進や日系旅行代理店への更なる市場開放を働きかけ、また日本側でも観光客への更なるビザ緩和の取組を進めるべきではないか。

赤松 正雄君(公明)

- ・玄葉外務大臣は就任挨拶で、福島第一原発事故は着実に収束に向かっている旨述べたが、仮設住宅に入居し、いつ自宅へ戻ることができるのかと悲嘆に暮れる多くの被災民の実情を考慮していないのではないか。
- ・玄葉外務大臣は福島県選出の衆議院議員として、TPP

について福島県の農業関係者を中心に意見を聞く必要があるのではないか。

- ・原発は潜在的な核抑止力であるとの見解について、玄葉外務大臣はどのように考えているか。

笠井 亮君（共産）

- ・多くの地方議会が、TPP交渉への参加に反対又は慎重に対応すべきとの意見書を出している理由について、玄葉外務大臣はどのように考えているか。
- ・TPPについて、国民への説明が十分ではない中、来月上旬に交渉参加の判断をすることができるのか。
- ・玄葉外務大臣は、何故沖縄に海兵隊が必要であると考え

ているのか。

服部 良一君（社民）

- ・玄葉外務大臣は、先週の沖縄県訪問でどのような成果をあげたのか。
- ・普天間飛行場の辺野古移設を実現するため、沖縄県知事に与えられている公有水面の埋立許認可権限を上げる特別措置法を制定する可能性はあるか。
- ・海兵隊が沖縄に所在する意義等を示した防衛省作成の冊子に対する沖縄県の質問書に対して、防衛省はいつまでに回答を出すのか。